

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】令和6年6月4日(2024.6.4)

【国際公開番号】WO2024/004962
 【出願番号】特願2023-571960(P2023-571960)

【国際特許分類】

C 0 7 C 4 3 / 2 1 5 (2 0 0 6 . 0 1)
 C 0 7 C 4 3 / 2 3 (2 0 0 6 . 0 1)
 C 0 7 C 6 9 / 5 4 (2 0 0 6 . 0 1)
 C 0 7 D 3 0 3 / 2 7 (2 0 0 6 . 0 1)
 C 0 8 F 1 6 / 3 2 (2 0 0 6 . 0 1)
 C 0 8 F 2 0 / 1 8 (2 0 0 6 . 0 1)
 C 0 8 G 5 9 / 0 6 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 7 C 4 3 / 2 1 5
 C 0 7 C 4 3 / 2 3 F
 C 0 7 C 6 9 / 5 4 B
 C 0 7 C 6 9 / 5 4 Z
 C 0 7 D 3 0 3 / 2 7
 C 0 8 F 1 6 / 3 2
 C 0 8 F 2 0 / 1 8
 C 0 8 G 5 9 / 0 6

20

【手続補正書】

【提出日】令和5年11月20日(2023.11.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

30

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

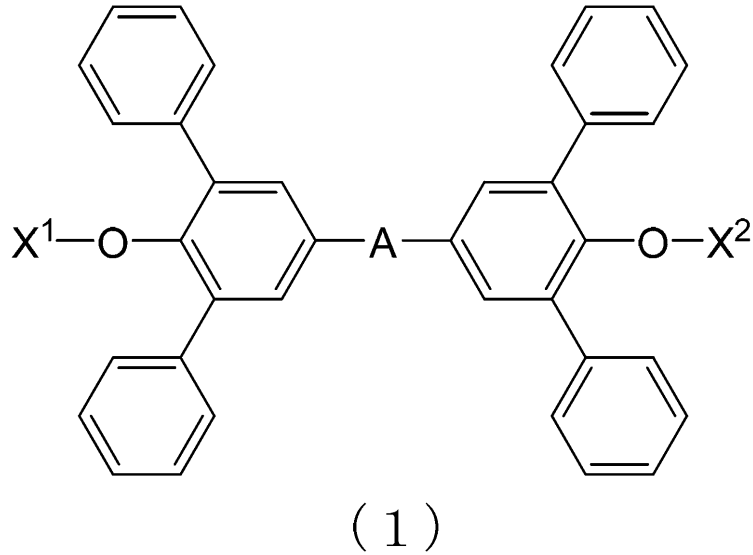
【請求項1】

下記化学式(1)で表される化合物、その互変異性体若しくは立体異性体又はそれらの塩。

40

50

【化 1】



10

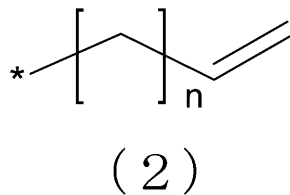
前記化学式(1)中、

Aは、単結合、メチレン基、又はシクロヘキシレン基であり、前記メチレン基の水素原子の1つ以上は、それぞれ独立して、メチル基若しくはフェニル基で置換されていてもよく、

20

X¹及びX²は、それぞれ重合性官能基であり、互いに同一でも異なってもよく、前記化学式(1)中、X¹及びX²が、それぞれ独立して、下記化学式(2)~(5)の基で表される置換基であり、Aが単結合である場合は、X¹及びX²の少なくとも一方は、前記化学式(3)以外の置換基である。

【化 2】



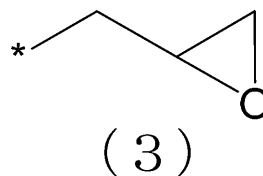
30

前記化学式(2)中、

*は、前記化学式(1)中のO原子に対する結合手であり、

nは、0又は1の整数である。

【化 3】



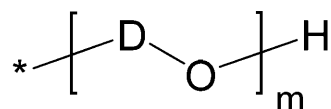
40

前記化学式(3)中、

*は、前記化学式(1)中のO原子に対する結合手である。

50

【化 4】

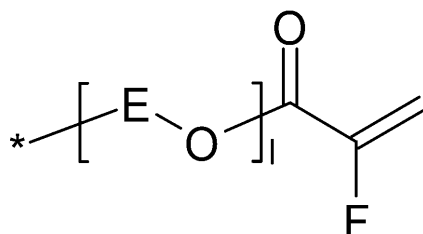


(4)

前記化学式(4)中、*は、前記化学式(1)中のO原子に対する結合手であり、
 Dは、エチレン基又はイソプロピレン基であり、
 mは、1～3の整数であり、
 Dが複数の場合は、各Dは互いに同一でも異なっていてもよい。

10

【化 5】



(5)

20

前記化学式(5)中、*は、前記化学式(1)中のO原子に対する結合手であり、
 Eは、エチレン基又はイソプロピレン基であり、
 Fは、水素原子又はメチル基であり、
 lは、0～3の整数であり、
 Eが複数の場合は、各Eは互いに同一でも異なっていてもよい。

【請求項 2】

前記化学式(4)中、Dが、イソプロピレン基である、
 請求項1記載の化合物、その互変異性体若しくは立体異性体又はそれらの塩。

30

【請求項 3】

請求項1又は2記載の化合物、その互変異性体若しくは立体異性体又はそれらの塩を含む屈折率向上剤。

【請求項 4】

請求項1又は2記載の化合物、その互変異性体若しくは立体異性体又はそれらの塩を含むモノマー成分の重合体。

40

50